

第3投目：やっぱりクロがいる瀬は楽しい！

2011.1月某日、風は北やや強くのち北東、波は3m 2.5mの予報でした。奄美の南東方向には前線を伴った低気圧があり、『東側はうねりが大きいかも?』と心配しながらでしたが午前6時に古仁屋港出港です。

ジャナレ島周辺に到着する頃ようやく夜が明け、磯にあたる波の状況がわかりました。やはり東のうねりが結構大きく、ジャナレ島周辺は全てアウト(泣)。東からは低気圧のうねり、西側は北からのうねり、『こんな日をわざわざ選んで磯釣りなんか来なけりゃよかった..』と反省していました。1~2名の釣り人をヤンマ崎周辺に降ろし、渡船は与路島を目指します。『一人だったら波の状況を見てT瀬に降りてみ?』船長がなんとか着けてくれるそうです。心は躍ったのですが、たまに北からの波が船着けを洗う状況..(怖)強がって平気な振りを装いながらでしたが、なんとか無事に渡ることができました。

T瀬は今シーズンの1枚目をゲットした磯。道具を高いところまで運び、前回釣った場所を見ますがとんでもない波。とても釣りができる状況ではなく、まずは船着け側でやってみるしかありません。9時頃が満潮のため、潮は徳之島方向に流れています。ただ、足元のサラシが大きく広がるため、仕掛けが入る場所がその時々で変わるようです。

午前7時30分、釣り始めてすぐに足下のサラシの中にチラッと青白い魚影を発見。クロかテングバギモドキか判断つかなかったのですが、次の1投で仕掛けがうまく入り魚がヒット!43cmのクロが浮いてきました。しかし、その後は餌取りが増え、餌取りより先に餌を食べようとするクロはなかなか現れません。そして、8時50分..サラシでばらけた餌を沖で拾ってるかも?と考え、遠投し潮とサラシとのぶつかりから仕掛けを入れていくとウキが斜めにキレイに入り2枚目。後でこのクロを捌いてお腹を見るとオキアミいっぱい..やはりずっと沖目で拾ってたんですね。時間的にも満潮の潮変わりでクロの活性が少し上がったタイミングだったようです。

その後、少し波が落ち着く時間帯があり、裏側をやってみました。それでもサラシが洗濯機のような状態で仕掛けがなかなか入りづらかったのですが、1.5kgぐらいのテンジクイサキを釣ったあとに本日最長となる45cmをゲットしました。



近年、奄美ではクロ(尾長)の生息数が少なく、良い釣りができてもなかなかめぐりあう機会がないのが現状です。そんな中、Super Flowを利用し、仕掛けがうまく入る場所を探しながら一日3枚の釣果、こんな釣りはめったにできません。クロがいる磯で攻めることができれば結果につながりやすいし楽しい。『やっぱりクロがいる磯でクロ釣りせんといかん!』